

# 北見工業大学学報

第 280 号 (2017 年 3 月号)

## 目 次

学位記授与式	平成 28 年度学位記授与式を举行……………	2
告 辞	平成 28 年度学位記授与式告辞……………	4
入 試	平成 29 年度大学院入学試験(第 2 回)を実施……………	6
	平成 29 年度工学部一般入試を実施……………	7
研 究 助 成	平成 28 年共同研究の受入状況……………	8
	平成 28 年度奨学寄附金の受入状況……………	9
人 事	人事異動……………	10
受 賞	本学教員らのグループが日本機械学会 北海道支部賞(研究技術賞)を受賞……………	13
	本学学生が日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞……………	14
	本学学生が電子情報通信学会 光ファイバ応用技術研究会学生奨励賞を受賞……………	15
諸 報	第 8 回北見工業大学・江原大学・東京農業大学 ジョイントシンポジウムを開催……………	16
	オホーツク農業協同組合長会と包括的連携協定を締結……………	17
	平成 28 年度就職イベントを開催……………	18
	第 28 回ユニバーシアード冬季競技大会出場に伴う結果報告会を開催……………	20
	オホーツク医学大会・北見医工連賞授賞式……………	21
	平成 28 年度第 2 回安全衛生講習会を実施……………	22
	学生表彰式を举行……………	23
	平成 28 年度永年勤務者表彰式(退職時表彰)を举行……………	24
	Pepper お披露目会を開催……………	25
日 誌	2 月・3 月……………	26

## = 学位記授与式 =

### 平成 28 年度学位記授与式を挙行

(総務課)

3月17日(金)、平成28年度学位記授与式が午前10時から北見市民会館で行われました。

学部376人の卒業生、大学院博士前期課程93人及び大学院博士後期課程6人の修了生に対し、高橋信夫学長から学位記が授与されました。また、本学が加入しているスーパー連携大学院のイノベーション修士サーティフィケートが1人に授与されました。

学長告辞、辻直孝北見市長、後援会会長代理の大坪広則JAきたみらい専務理事、鳥

越廣美同窓会会長及び富田剛夫学生後援会会長からの祝辞の後、情報システム工学科・本間佑涼さんが「これから様々な状況に直面することになり、もちろん困難なこともあると思いますが、北見工業大学での経験を生かすとともに、研鑽を積むことで道を切り開き、先に進むことができると確信しています。」と答辞を読み上げ、式は無事終了しました。

卒業生、修了生の人数は下表のとおりです。

#### 学部

学 科 名	卒業生数(人)
機械工学科	75
社会環境工学科	73
電気電子工学科	73
情報システム工学科	63
バイオ環境化学科	58
マテリアル工学科	34
合 計	376

#### 大学院博士前期課程

専 攻 名	修了者数(人)
機械工学専攻	27
社会環境工学専攻	12
電気電子工学専攻	18
情報システム工学専攻	7
バイオ環境化学専攻	18
マテリアル工学専攻	11
合 計	93

大学院博士後期課程

専攻名	修了者数(人)
生産基盤工学専攻	3
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3
合計	6



学位記授与式の様子

## = 告辞 =

### 平成 28 年度学位記授与式告辞

学部卒業、大学院修了の皆さん、学位取得おめでとうございます。

皆さんのこれまでの努力が実り、めでたく学位記を授与されましたことに敬意を表し、北見工業大学の教職員を代表いたしまして御祝いを申し上げます。

本日はご多様な折にもかかわらず、北見市長の辻様、JAきたみらい専務理事の大坪様、同窓会会長の鳥越様、学生後援会会長の富田様にご臨席を賜り、学位記授与式を挙行できますことに感謝申し上げます。

本年度は、学士の学位記を376人に、修士の学位記を93人に、そして博士の学位記を6人に授与いたしました。この中には20人の留学生が含まれます。皆さんが学位記を授与されたことは、皆さんご自身の努力のたまものであることはもちろんのことですが、これまで皆さんを温かく見守り続けてこられたご家族を始めとした、周りの方々の様々な支援のおかげでもあります。お世話になった方々への感謝の気持ちを大切にさせていただきたいと思います。

本日は、この場にご家族の皆様にも多数ご出席いただいております。ご家族の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

さて、学士課程を卒業される皆さんが入学したのは2013年の4月です。その2年前になりますが、2011年の3月11日には、悪夢のような東日本大震災が起きました。それ以降も毎年のように様々な大きな自然災害が発生しています。この一年間でも、昨年4月に発生しました熊本地震があります。そして8月には、ほとんど台風に見舞われることのなかった北海道に、たて続けに3つの台風が上陸し、十勝地方とこのオホーツク地

方に大きな被害がもたらされました。自然界ばかりでなく人間社会におきましても、イギリスのEUからの離脱や、アメリカ合衆国大統領のオバマ氏からトランプ氏への交代等、大きな出来事が続いております。この世の中、そう簡単には穏やかで安定した時代にはならないということかと思えます。

そのような中、卒業あるいは修了される皆様の多くは、工学技術者として社会に船出することになります。そして、社会の荒波に身を揉まれ、様々な困難に遭遇することになりますが、皆さんは北見工業大学で学んだことを活かして、それらの困難を乗り越えて、若々しい技術者として活躍してくれるものと私は確信しております。

工学に携わる私どもの基本は、研究等の取組対象に真摯に取り組み、地道な作業を継続し、確実に結果を積み上げることであります。

昨年のノーベル生理学・医学賞を東京工業大学栄誉教授の大隅良典先生が受賞されました。先生は長年にわたり、酵母を相手にコツコツと顕微鏡をのぞく地道な作業を続けられました。そして、細胞のリサイクル機能「オートファジー」の仕組み解明に到達されました。先生は「人類の歴史と未来に思いを抱きつつ、自分らしく生きる」というお言葉を書き留めておられます。奥行きの高さばかりでなく、先生のお人柄と温かみの現れたお言葉と感じました。

皆様におかれましても、工学を学んだ者として、その基本をしっかりと守り、その上で夢を大切に、そしてその実現を信じて、前向きに様々なことにチャレンジしていただきたいと思えます。

そして、5年先、10年先、大きく成長して母校である北見工大を訪ねてきていただいたと思っています。私ども大学の教職員も、生き生きとした大学として確実に発展している北見工大の姿を皆様にお見せできるようにしたいと思っています。お互い頑張りましょう。

この冬は激しい吹雪もなく、比較的過ごしやすく感じられました。さらに、今日この頃は日中の日射しも強く雪解けも進み、

春の訪れが強く感じられるようになりました。皆様の新たな船出を祝福するのに相応しいこの季節を迎え、本日、このように盛大に学位記授与式を挙行できましたことに改めまして感謝申し上げますとともに、卒業生・修了生の皆様のこれからのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、学位記授与式にあたりましての告示といたします。

皆さん、本当におめでとうございます。

平成29年3月17日

北見工業大学長 高橋 信夫

## = 入試 =

### 平成 29 年度大学院入学試験（第 2 回）を実施

(入 試 課)

平成 29 年度大学院工学研究科博士前期課程入学試験（第 2 回）を 2 月 7 日（火）（学力検査）、8 日（水）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

また、平成 29 年度大学院工学研究科博士後期課程入学試験（第 2 回）を 2 月 7 日（火）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

#### 博士前期課程

専攻名	募集区分		一般入試		社会人特別入試		外国人留学生特別入試		高等専門学校専攻科生特別入試		学部3年次学生対象入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
機械工学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会環境工学専攻	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
電気電子工学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報システム工学専攻	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
バイオ環境化学専攻	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マテリアル工学専攻	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
合 計	12	12	0	0	4	4	0	0	0	0	1	1

#### 博士後期課程

専攻名	募集区分		一般入試		社会人入試		外国人留学生入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
生産基盤工学専攻	0	0	0	0	0	0	1	1
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	0	0	2	2	0	0	0	0
医療工学専攻	0	0	1	1	0	0	0	0
合 計	0	0	3	3	1	1	1	1

## 平成 29 年度工学部一般入試を実施

(入 試 課)

平成 29 年度工学部一般入試について、1 月 23 日（月）から 2 月 1 日（水）までの願書受付期間内に前期日程 415 人、後期日程 1,344 人の出願がありました。

前期日程は 3 月 6 日（月）に合格者を発表し、後期日程は 3 月 12 日（日）に個別学力検査を行い、3 月 20 日（月）に合格者を発表しました。各学科の合格者数等は下表のとおりです。

### 前期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
地球環境工学科	76	138	131
地域未来デザイン工学科	88	277	189
合 計	164	415	320

### 後期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
地球環境工学科	66	506	137
地域未来デザイン工学科	77	838	141
合 計	143	1,344	278

## = 研究助成 =

### 平成28年度共同研究の受入状況

平成29年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研究題目	民間機関等
情報処理センター	講師	三浦 克宜	インタークラウドにおける多目的最適化手法を用いた、ITサービスの継続的最適配置に関する共同研究	SCSK株式会社/国立大学法人北海道大学
電気電子工学科	助教	杉坂 純一郎	面発光レーザー向けフォトニッククリスタルについての研究	株式会社東芝生産技術センター
社会環境工学科	助教	川尻 峻三	北海道豪雨災害に関する研究	日本工営株式会社札幌支店
機械工学科	特任助教	楊 亮亮	広域適用高精度位置情報活用ICT基盤要素技術の研究	エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社
社会環境工学科	准教授	中村 大	積雪寒冷環境が土中埋設管に及ぼす種々の影響の解明に関する研究	北海道ガス株式会社北見支店
電気電子工学科	准教授	橋本 泰成	ブレインマシンインターフェースを用いた快適性定量化に関する研究	北海道ガス株式会社技術開発研究所

平成28年度累計86件



## 平成28年度奨学寄附金の受入状況

平成29年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄附目的	寄附者	寄附金額
社会環境工学科	准教授	中村 大	工学研究のため	有限会社シー・エス・プランニング	300,000
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	株式会社アベックス北海道支社	166,052
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	北見工業大学生協同組合	532,274
	学長	高橋 信夫	国立大学法人北見工業大学修学支援基金への寄附	北見工業大学生協同組合	500,000
	学長	高橋 信夫	学生に対する支援	北見工業大学後援会	100,000
機械工学科	特任助教	楊 亮亮	平成29年度助成事業 「放棄農地でも栽培できる南瓜の自動収穫機に関する研究」として	一般社団法人 ヤンマー資源循環支援機構	1,500,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	工学研究のため	株式会社ドーコン	500,000
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	株式会社伊藤園	586,316
社会環境工学科	助教	川尻 峻三	補強土壁現場試験に関する準備資料の作成	株式会社開発工営社	324,000
情報システム工学科	助教	山内 翔	平成28年度助成研究(助成研究A)として 研究課題:「ゲームキャラクターのロボット化のための任意形状ロボット構築手法」	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団	1,000,000
情報処理センター	教授	升井 洋志	バスロケーションシステムの研究のため	網走バス株式会社	100,000
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	CNT修飾Si粒子の研究	戸田工業株式会社	500,000
情報システム工学科	助教	山内 翔	平成28年度研究助成金 研究テーマ「新たな事象を能動的に発見する」ロボットの行動発展アルゴリズム構築」として	公益財団法人人工知能研究振興財団	500,000
機械工学科	准教授	高井 和紀	躯体の掃気に関するシミュレーション解析等	ジェイバック株式会社	150,000
バイオ環境化学科	准教授	服部 和幸	医用工学研究のため	北見医工連携研究会	200,000
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	687,597
社会環境工学科	教授	三上 修一	工学的研究推進のため	北見工業大学 社会環境工学科	600,000
	学長	高橋 信夫	大学広報等への支援	北見工業大学後援会	345,600
社会環境工学科	助教	川尻 峻三	河川域における表面波探査による地盤性状解明の研究助成	株式会社福田水文センター	1,500,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	河川域における表面波探査による地盤性状解明の研究助成	株式会社福田水文センター	500,000
電気電子工学科	教授	柴田 浩行	研究調査助成のため	公益財団法人電気通信普及財団	1,000,000

平成28年度累計74件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
29. 2. 28	工学部助教	韓 淑琴	辞職
29. 3. 31	工学部教授	大橋 鉄也	定年退職
〃	工学部教授	佐々木 正史	定年退職
〃	工学部教授	齋藤 正美	定年退職
〃	工学部教授	本田 明	辞職
〃	工学部准教授	菅原 幸夫	定年退職
〃	工学部准教授	渡辺 文彦	辞職
〃	工学部助教	遠藤 登	辞職
〃	工学部助教	今井 卓	辞職
〃	工学部助教	菊田 章	定年退職
〃	工学部助教	小俣 雅嗣	辞職
〃	事務局長	茶島 豊	定年退職
〃	総務課長	富樫 剛	辞職(北海道大学へ転出)
〃	総務課係長	足利 誠	辞職(北海道大学へ転出)
〃	総務課係長	伊藤 孝子	定年退職
〃	施設課係長	早瀬 敦	出向(釧路工業高等専門学校)
〃	情報図書課係長	池田 幸代	辞職(北海道大学へ転出)
〃	技術部学部・大学院支援室長	小畑 芳弘	定年退職
29. 4. 1	理事・副学長	田村 淳二	保健管理センター長 (任期:平成30年3月31日まで)
〃	副学長	柴野 純一	地球環境工学科長 (任期:平成30年3月31日まで)
〃	副学長	川村 彰	地域未来デザイン工学科長 及びプロジェクト研究推進センター長 (任期:平成30年3月31日まで)
〃	工学部教授	亀田 貴雄	地球環境工学科副学科長 (任期:平成30年3月31日まで)
〃	工学部教授	川村 みどり	地球環境工学科副学科長 (任期:平成30年3月31日まで)
〃	工学部教授	平山 浩一	地域未来デザイン工学科副学科長 (任期:平成30年3月31日まで)

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
29.4.1	工学部教授	星 雅之	地域未来デザイン工学部副学科長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	鈴木 正清	情報システム工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	伊関 敏之	各専攻共通主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	阿部 良夫	共用設備センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部准教授	原田 建治	工学部教授
〃	工学部准教授	大野 智也	工学部教授
〃	（新規採用）	伊藤 敦	工学部准教授
〃	工学部特任助教	胡 杰	工学部助教
〃	工学部特任助教	邱 泰瑛	工学部助教
〃	工学部特任助教	楊 亮亮	工学部助教
〃	名古屋大学教育推進部長	三枝 広人	事務局長
〃	旭川医科大学教務部入試課長	玉木 衛	総務課長
〃	学務課学生支援室長	藤田 美代子	学務課学生支援室長（係長兼務）
〃	情報図書課長（係長兼務）	吉竹 忍	情報図書課長
〃	北海道大学財務部主計課主任	吉本 幸矩	総務課係長
〃	情報図書課係長	上野 智子	総務課係長
〃	総務課主任	中村 圭吾	総務課専門職員
〃	室蘭工業大学施設課係長	江藤 祥太	施設課係長
〃	入試課主任	反保 聡史	入試課係長
〃	入試課係長	栄浪 晋也	情報図書課係長
〃	情報図書課専門職員	船木 敦子	情報図書課係長
〃	情報図書課主任	山本 至	情報図書課専門職員
〃	（新規採用）	浅野 竜也	入試課事務職員
〃	（新規採用）	宮崎 廉	情報図書課事務職員
〃	技術部高度専門職（機器分析支援担当） （学部・大学院支援室機器分析 支援グループ長兼務）	松田 弘喜	技術部学部・大学院支援室長（技術部高度専門職 （機器分析支援担当）兼務）
〃	技術部学部・大学院支援室ものづくり 支援グループ長	堂田 誠治	技術部学部・大学院支援室技術専門員
〃	技術部学部・大学院支援室ものづくり 支援グループ工作技術支援係長	杉野 豪	技術部学部・大学院支援室ものづくり支援グループ長

発令年月日	現 職 名	氏 名	新職名（発令事項）
29.4.1	技術部学部・大学院支援室技術専門員	山根 美佐雄	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ長
〃	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ技術専門職員	三橋 恵治	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ安全衛生係長
〃	技術部学部・大学院支援室ものづくり支援グループ技術専門職員	長谷川 稔	技術部学部・大学院支援室ものづくり支援グループ工作技術支援係長
〃	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ安全衛生係長	白川 和哉	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ技術専門職員

## = 受賞 =

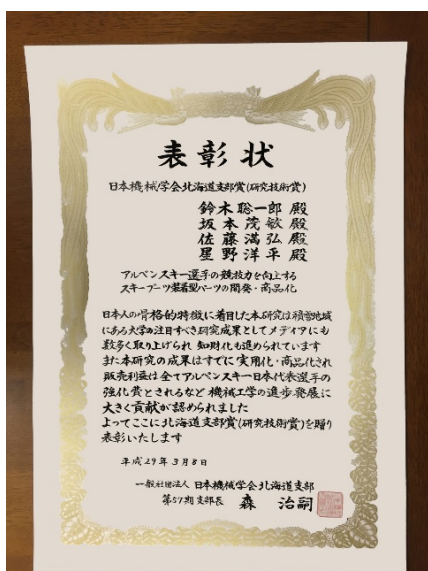
### 本学教員らのグループが日本機械学会 北海道支部賞(研究技術賞)を受賞

(機械工学科)

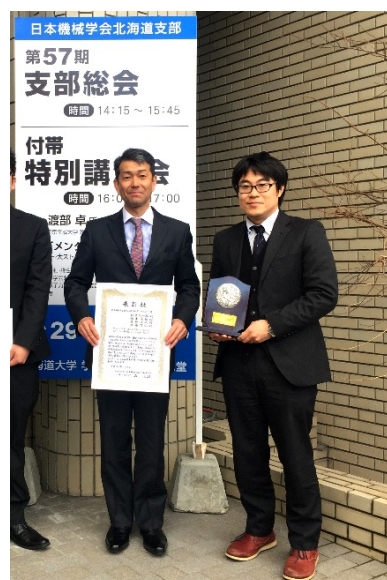
3月8日(水)に北海道大学学術交流会館にて開催された日本機械学会 北海道支部第57期総会において、鈴木聡一郎教授、ブレイン株式会社 坂本茂敏氏、佐藤満弘准教授、星野洋平准教授のグループが研究開発を行った「アルペンスキー選手の競技力を向上するスキーブーツ装着型パーツの開発・商品化」に対し、日本機械学会北海道

支部賞(研究技術賞)が授与されました。

積雪地域にある大学の注目すべき研究成果としてメディアにも数多く取り上げられ、すでに実用化・商品化されただけでなく販売利益はすべてアルペンスキー日本代表選手の強化費とされるなど、機械工学の進歩発展に大きな貢献が認められた点が高く評価されました。



日本機械学会北海道支部賞(研究技術賞)



授賞式(鈴木教授(左)・星野准教授(右))

## 本学学生が日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞

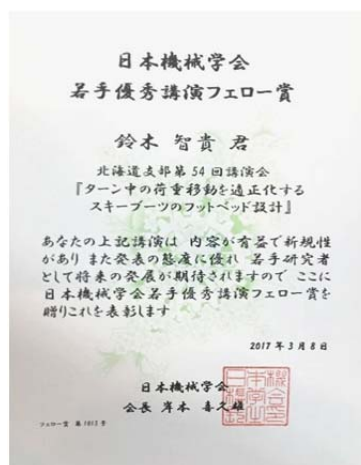
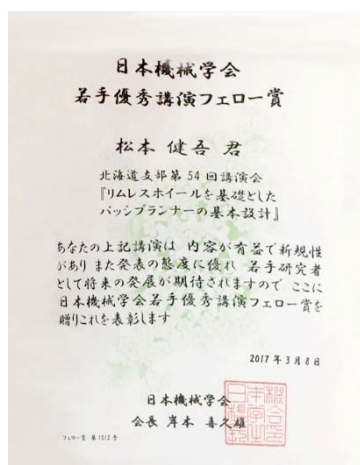
(機械工学科)

3月8日(水)に北海道大学学術交流会館にて開催された日本機械学会 北海道支部第57期総会において、第54回講演会の講演発表に対し、本学大学院機械工学専攻の松本健吾さん、鈴木智貴さんに日本機械学会若手優秀講演フェロー賞が授与されました。

松本さんは、鈴木聡一郎教授、星野洋平准教授、曹羸助教、楊亮亮助教の研究グループで行った研究「リムレスホイールを基礎としたパッシブランナーの基本設計」に

ついて、鈴木さんは、鈴木聡一郎教授、星野洋平准教授の研究グループで行った研究「ターン中の荷重移動を適正化するスキーブーツのフットベッド設計」についての講演発表による受賞となりました。

この賞は、国内有数規模の日本機械学会の本体から授与される賞の一つで、若手研究者や学生等が対象であり、研究内容・講演発表がともに優れた講演発表者に授与される榮譽ある賞です。



日本機械学会若手優秀講演フェロー賞



授賞した松本さんと鈴木さん（ともに左）

## 本学学生が 2016 年電子情報通信学会 光ファイバ応用技術研究会学生奨励賞を受賞

(電気電子工学科)

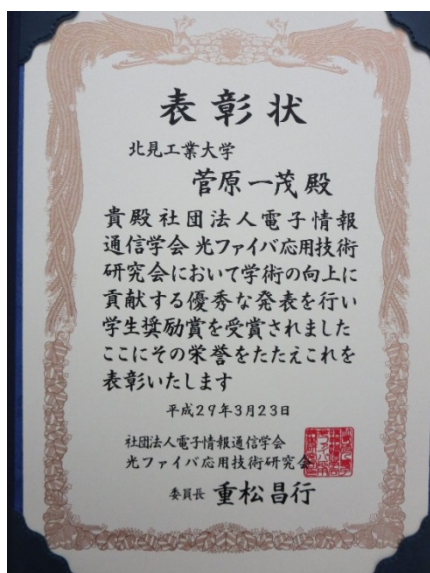
このたび、名城大学にて開催された電子情報通信学会総合大会において、本学電気電子工学専攻の菅原一茂さんに 2016 年電子情報通信学会光ファイバ応用技術研究会学生奨励賞が授与されました。

本賞は、電子情報通信学会の第 1 種研究会であり光ファイバに関わる応用技術およびシステム全般を対象として活動を行っている光ファイバ応用技術研究会より、当該年(1~12 月)の研究会に投稿された一般講演のうち学生による優秀な発表に授与される賞です。

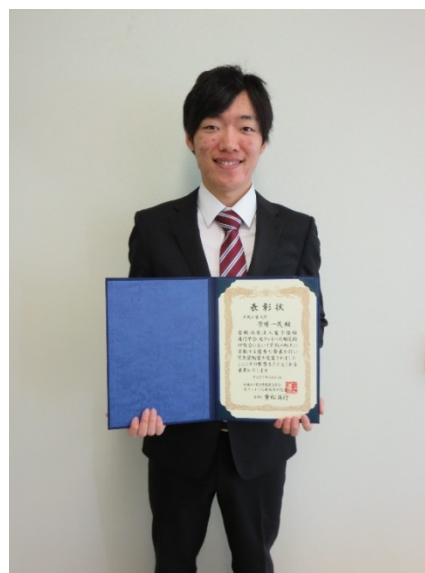
菅原さんは、昨年 10 月に盛岡で開催された研究会において、黒河賢二教授、NTT ア

クセスサービスシステム研究所との共同研究で得られた成果である「異種ファイバ接続点近傍におけるファイバヒューズ気泡間隔ゆらぎの観測」について発表を行いました。

ファイバヒューズは、光通信の大容量化に伴う光ファイバ内パワーの増大により引き起こされる危険な燃焼破壊現象として注目を集めており、本発表はファイバヒューズの伝搬に伴い生成される気泡列についての新たな知見を提供するものです。その研究と講演発表内容が高く評価され、今回の受賞となりました。



光ファイバ応用技術研究会学生奨励賞



受賞した菅原さん



## ＝ 諸報 ＝

### 第 8 回北見工業大学・江原大学校・東京農業大学 ジョイントシンポジウムを開催

(社会連携推進センター)

2月2日(木)、本学第2会議室において江原大学校(韓国)と東京農業大学、本学による第8回ジョイントシンポジウムが開催されました。本シンポジウムは、江原大学校と本学が平成18年に締結した包括協定に基づき、相互の連携を密にすることを目的とし、互いの大学を会場に隔年で行われています。今年からは昨年江原大学校と連携協定を締結した東京農業大学生物生産学部が加わり、「第1次産業活性化に対する大学の取り組み」をテーマに各大学が講演を行いました。

シンポジウムでは、本学からは佐藤之紀教授による「食パンクラムの力学物性を表す Compressive force value を求めるための American Association of Cereal Chemists 変法」、佐藤利次准教授による「シ

イタケ上面栽培廃液(上面水)のラッカーゼ製剤としての利用」の発表が行われました。江原大学校からは講演3題、東京農業大学からは2題発表いただき、いずれも地域性の高い講演内容に参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、シンポジウム翌日には江原大学校から要望のあった養蜂とその商品化、食用花の取り組みについて、東京農業大学が担当となり当地域の視察を行いました。

今回も農・食関連の人材育成や商品開発への取り組みについての情報共有の場となり、地域が抱える共通の課題に対し、地域の大学が連携の拠点づくりや新たな展開に向かって協力関係を構築するきっかけとなりました。



シンポジウムの様子



江原大学校 崔教授による挨拶



## オホーツク農業協同組合長会と包括連携協定を締結

(学長企画室)

2月14日（火）にオホーツク管内の全14農協の組合長で組織されるオホーツク農業協同組合長会と連携協定を締結しました。

本協定は、産業構造の変化等、社会経済情勢の変化や地域の課題について共通認識を持ち、相互に連携協力し、相互の人的・知的・物的資源の活用と交流を図ることにより、活力ある地域社会を創生することを目的としています。

協定締結の背景としては、第1次産業地域に立地する工業大学として、工学的見地から地域産業の発展と高次化に貢献することを重要戦略と位置付けている北見工業大学と、農業の課題解決に工業の力を必要とするオホーツク農業協同組合長会の思惑が合致したものです。

調印式において、高橋信夫学長は「共同研究の推進、人材育成、雇用創出など地域社会の発展、活性化に繋がる取組を進めていきたい」と述べ、佐藤正昭組合長会会長は「工業との関わりを強め、農業の担い手不足の問題や地域農産物の流通対策などの課題に取り組みたい」と抱負を述べられました。

今後、本協定締結により、学生のインターンシップ受入れ、AIを導入した農業機械開発を目的とする共同研究などが計画されています。

両者の強力なタッグにより、オホーツク地域を支え、地域創生の実現に向けた取組の進展に高い注目と期待が寄せられています。



協定書に署名し、握手を交わす高橋学長（左）と佐藤会長（右）



調印式に出席した北見工大、JAオホーツク組合長会の役員等

## 平成 28 年度就職イベントを開催

(学生支援室)

平成 29 年 2 月下旬から 3 月初頭にかけて、就職活動が解禁になるこの時期に、学内でも 3 つの就職イベントを立て続けに開催しました。

2 月 22 日 (水) には、本学第二体育館において、「地元企業合同セミナー」を、本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そして KIT げんき会との共催により開催しました。本セミナーでは北見市を含む近隣 6 市町の企業 38 社 (団体)、参加学生は本学学生及び管内の学校と共同開催とした結果、延べ 220 名が参加し、参加した学生らが企業担当者の話に熱心に耳を傾けておりました。

また、2 月 23 日 (木) から 28 日 (火) までの 6 日間、本学講義室において「合同企業研究会」を開催しました。本研究会は、午前・午後の冒頭に実施される全体説明会において、各企業が自社を PR するプレゼンテーションを行った後、各講義室にて 3 回の研究会を行う形式で、学生は 1 日最大 6 社の研究会を受講することが可能です。また、お昼には情報交換会が開かれ、企業

の担当者、就職担当教員、学生等が参加して交流を深めながら、就職に関する様々な話が交わされました。6 日間の参加企業数は計 216 社、参加学生数は延べ 4,313 名、1 社あたりの参加学生数は 20 名となりました。

さらに、就職広報活動が解禁となる 3 月 1 日 (水) には、同じく本学講義室において、本学では初めての開催となる「官公庁合同説明会」を実施し、道内の官公庁 12 団体が試験内容や業務の概要等について説明を行い、公務員試験に興味を持つ学生延べ 102 名が参加しました。

今回は 3 つのイベントの実施が土日を含めた連日開催であったため、学生には疲れの色も見られましたが、「今まで興味のなかった企業でも話を聞いて考え方が変わった」など、全国の企業との出逢いを求め、積極的に担当者とコミュニケーションを取る姿が見られました。学生の皆さんの就職活動が実りあるものとなるよう、次年度に向けてもさらに時期や方法などを検討していく予定です。

## 各イベントの様子



地元企業合同セミナー



合同企業研究会



官公庁合同説明会

## 第28回ユニバーシアード冬季競技大会 出場に伴う結果報告会を開催

(学 務 課)

第28回ユニバーシアード冬季競技大会に、日本代表として参加した本学カーリング部男子チームが、2月28日(火)に高橋信夫学長に結果報告を行い、その後に応援していただいた方々に向けて報告会を開催しました。

顧問の柳等准教授から今回の結果(3勝6敗9位)を高橋学長と柴野純一副学長に報告され、選手それぞれから、結果は残念だったがとても良い経験ができたことなど、今後の抱負が語られました。高橋学長からは、カーリングのみならず今後の人生にこの経験を活かしてもらいたいと、選手にエールが送られました。

また、選手の平田洸介さんからは、冬季アジア大会に軽井沢SCの一員として大会に参加し、銀メダルを獲得したことの報告が併せてありました。

応援していただいた方々への報告会はB111講義室で開催され、会場には、北見カーリング協会、北見市役所等外部の方をはじめ、高橋学長と柴野副学長を含む学生教職員等多くの方々の参加がありました。

報告会では、各選手から、応援していただいた皆様への御礼の言葉が述べられ、カザフスタンではSNS等で応援いただいたことがとても力になったことや、世界の強豪国と戦った感想、今後の目標などが語られました。

その後、写真と動画を用いて、カザフスタンでのオープニングセレモニーや選手村での様子が紹介され、大会の様子や、氷への対応など紹介がありました。

最後に、柴野副学長から選手達に労いの言葉がかけられ、報告会を終了しました。



学長報告



報告会

## オホーツク医学大会・北見医工連携賞授賞式

(社会連携推進センター)

3月4日(土)、北見芸術文化ホールにおいて、北見医師会・北見医工連携研究会主催による第10回オホーツク医学大会が開催されました。10回目の節目ということもあり、一般の方々へも聴講いただけるよう、会場を本学から芸術文化ホールに移し行われました。

招待講演では北海道警察北見方面本部交通課運転免許試験場長村中俊治氏から「改正道路交通法について」をご講演いただき、また特別講演では愛し野内科クリニック院長岡本卓氏に「医の倫理ー地域医療の視点から」をご講演いただきました。その後、医師会、歯科医師会、薬剤師会、日本赤十字北海道看護大学、本学から各機関の取り組みや研究についての発表が行われました。本学からは柴野副学長が医療工学専攻について説明し、続いて生産基盤工学専攻の

Sukhbold Enkhtsetsegさんが「ウーロンホモビスフラバンAによる低密度リポタンパク質の酸化抑制効果」について発表しました。

引き続き、若手研究者の医療工学研究のために設けられた北見医工連携賞の授賞式が行われ、今年度は本学バイオ環境化学科服部和幸准教授が受賞しました。受賞者講演では、服部准教授から「多くの生理活性を有するキチン・キトサン類縁体の化学合成」と題した講演が行われました。

オホーツク医学大会はこれまで、医療の分野に関する講演が主として行われていますが、今後さらに幅広い分野への講演の実施へと拡大する予定とのことで、本学から多くの研究発表の場、地域への情報発信の場として活用が期待されます。



柴野副学長による医療工学専攻の説明



Enkhtsetsegさんによる発表



北見医工連携賞を受賞した服部准教授



## 平成 28 年度第 2 回安全衛生講習会を実施

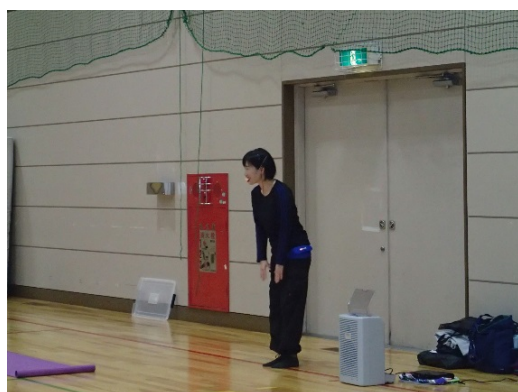
(施 設 課)

3月6日(月)、第2回安全衛生講習会を第2体育館にてアスリンク代表・前崎さやこ氏を講師にむかえ開催しました。

当日は教職員約10名が参加し筋力、運動不足による姿勢不良、疲れ、コリの改善や適度に身体を動かすことによるストレス解消を目的としてピラティスを行いました。

これらは、初めての方でも運動になれている方でも取り組めるもので、参加者は楽しみながら取り組んでおりました。

90分間の講習の後は「気分がリフレッシュした」「肩こり、体に改善の効果が感じられた」との声が聞かれました。



前崎氏による挨拶



前崎氏に合わせて体を動かす参加者

## 学生表彰式を挙

(学 務 課)

3月13日(月)に平成28年度学生表彰式がコミュニケーションアトリウムにおいて行われました。

高橋信夫学長から被表彰者に対し、表彰状並びに記念品の贈呈が行われ、お祝いの言葉が述べられました。

### 学長表彰

氏名等	所属学科・専攻
平田 洸介	情報システム工学専攻
カーリング部 男子チーム	

### 成績優秀者

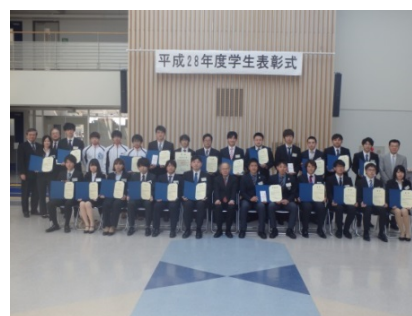
氏名等	所属学科・専攻
瓶子 達也	機械工学科
鎌田 啓市	社会環境工学科
東 佳那恵	電気電子工学科
岡田 勉	情報システム工学科
山下 慎平	バイオ環境化学科
横岩 佑城	マテリアル工学科
廣瀬 遼	機械工学専攻
竹内 友彦	社会環境工学専攻
高島 正光	電気電子工学専攻
畠山 鈴生	情報システム工学専攻
荒川 知子	バイオ環境化学専攻
原田 千穂	マテリアル工学専攻

### ミント賞

氏名等	所属学科・専攻
鈴木 智貴	機械工学専攻
松本 健吾	機械工学専攻
石橋 怜	機械工学専攻
川内谷 勇真	社会環境工学専攻
佐藤 貴亮	社会環境工学専攻
富樫 優子	社会環境工学専攻
佐野 史弥	社会環境工学専攻
藤森 鴻平	バイオ環境化学専攻
宋 白楊	寒冷地・環境・ エネルギー工学専攻
void (ロボコン チーム)	
カーリング部 男子チーム	



学生表彰式の様子



記念写真

## 平成 28 年度永年勤務者表彰式(退職時表彰)を挙行

(総務課)

平成29年3月31日をもって35年以上在職し退職された方々に対する永年勤務者表彰式を、3月27日(月)に学長室で行いました。

表彰式では、永年勤務し退職された4氏に、高橋信夫学長から表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。

次いで高橋学長から、被表彰者の方々の北見工業大学に対する永年にわたる精励と努力に対し、深い敬意と感謝の意が表せられました

なお、このたび表彰を受けられた方々は、以下のとおりです。(50音順)

氏名	所属学科等
伊藤 孝子	総務課
小畑 芳弘	技術部
菊田 章	情報システム工学科
小俣 雅嗣	バイオ環境化学科



## Pepper お披露目会を開催

(情報図書課)

近頃、様々なところで活躍するロボットを見かけることが増えました。本学でも、学生たちとロボットが接する機会を設けようと、ソフトバンクロボティクスの人型ロボット「Pepper for Biz」を3月に導入しました。

学生や教職員、地域の方々へのお披露目に先立ち、高橋信夫学長をはじめとした役員等を対象として、3月29日（水）にPepperお披露目会を開催しました。

お披露目会では、まずPepperに自己紹介をしてもらいました。その後、Pepperが今後のお仕事予定を発表し、4月5日（水）入学式でのお仕事内容の一部を実際に行いました。参加者とPepperがおしゃべりするな

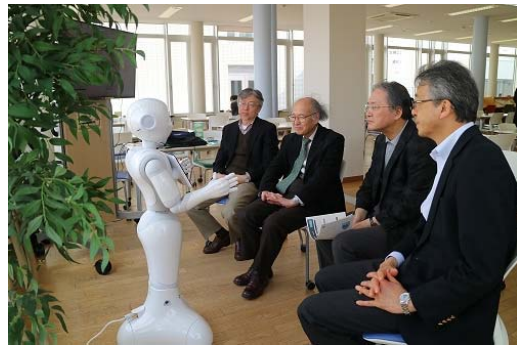
ど、Pepperの可愛らしさもあって、お披露目会は終始なごやかな雰囲気の中で行われました。

今後Pepperには、図書館を拠点として、来館者の質問に答えたり、大学のPR活動をしたりと、学生や地域の方々と触れ合ってもらう予定です。図書館だけではなく、大学のイベントでも施設案内や司会進行をするなどして、盛り上げてもらおうと考えています。

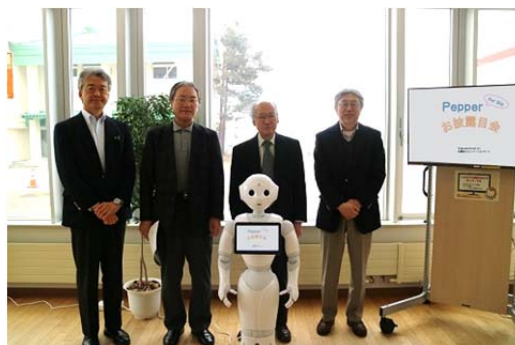
北見でのPepper for Biz導入事例は多くなく、地域の方々にとってもPepperは珍しくうつりそうです。図書館、そして北見工業大学でのPepperの活躍にご期待ください。



お披露目会の様子



Pepperと話をする高橋学長



Pepperと記念撮影

※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し、本学が独自に実施しています。

## = 日誌 =

### 2 月

- 2日 北見工業大学・韓国江原大学校・東京農業大学ジョイントシンポジウム
- 3日 就職ガイダンス
- 6日 入試企画センター運営会議、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 7日 地域連携・国際交流委員会、大学院博士前期課程入学試験（～8日）、大学院博士後期課程入学試験
- 8日 教育研究評議会
- 9日 社会連携推進センター運営会議
- 10日 入学試験実施委員会、入学者選抜委員会
- 14日 役員会、入学者選抜委員会
- 15日 教授会、研究科委員会、研究推進機構統括会議、私費外国人留学生入学試験合格発表、大学院入学試験合格発表
- 18日 公開講座（～25日）
- 21日 学生委員会
- 22日 発明審査委員会、教務委員会、地元企業合同セミナー
- 23日 合同企業研究会（～28日）
- 24日 高大連携連絡会議、入試企画センター運営会議
- 28日 ユニバーシアード冬季競技大会結果報告会

### 3 月

- 1日 官公庁説明会、編入学入学手続（～8日）、大学院入学手続（～8日）
- 2日 学術情報機構統括会議
- 3日 入学者選抜委員会
- 6日 教授会、研究科委員会、安全衛生講習会、教務委員会、一般入試（前期日程）合格発表、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 7日 学術情報委員会
- 8日 教育研究評議会、一般入試（前期日程）入学手続（～15日）、私費外国人留学生入学手続（～15日）
- 9日 経営協議会、役員会、学長選考会議
- 12日 一般入試（後期日程）個別学力検査
- 13日 発明審査委員会、学生表彰式
- 14日 地域連携・国際交流委員会、社会連携推進センター運営会議
- 16日 オホーツク地域エネルギー環境教育委員会、研究推進機構統括会議、教務委員会
- 17日 学位記授与式、入試企画センター運営会議
- 19日 教授会、入学者選抜委員会
- 20日 一般入試（後期日程）合格発表
- 21日 一般入試（後期日程）入学手続（～27日）